

1955年生まれ。14才からグライダーを始め、これまでに約200機の機体に乗る。国際滑空記章の金章とダイヤモンド章(300km/500km)を保持。アーヘン工科大学にて航空工学を専攻。1980年より独のアエロクーリエ誌、フリーガーマガジン誌、英のセイルプレーン&グライディング誌のレポーターを務める。

ドイツ発! グライダー通信簿

「アンタレス」のデモンストレーター、LF20E。



画期的ニュー・モーターグライダー誕生!

Antares

アンタレス

Page NO.01

第23回ドイツ航空技術研究所シンポジウムにて、アクセル・ランゲはモーターグライダーの世界を変えるかもしれない新しいプロジェクトを発表した。グラッサー・ディルクス社が破産する前に同社で働いていたこの設計技術者は、ツヴァイブルッケンに新しい工場「ランゲ航空機製造会社」を起し、新しい電動モーターグライダーの開発を始めた。1999年5月7日、ランゲ社が最初に進空させたのはDG1800bをベースにしたスパン20mのLF20E。構造的な改修を行った上、新しい電動推進システムを装備している。1999年中にLF20Eの飛行試験は成功裡に終了したが、すべてのデ

【主要諸元】

	スパン18m	スパン20m
全長	7.4m	7.4m
全高	1.45m	1.45m
翼面積	11.9㎡	12.6㎡
アスペクト比	27.2	31.7
自重	401kg	405kg
最大重量	595kg	595kg
最大滑空比	51以上	54以上
最小沈下率	0.54m/s	0.52m/s

このモーターの信頼性と安全性は、引き込み式のエンジンを持つ今日のモーターグライダーよりはるかに優れている。ほとんど整備が不要であるばかりか、オーバーホール間隔時間は1000時間と非常に長い。改めて断る必要もなからうが、騒音はほとんどゼロに近い。しかも、機体構造やパイロットを疲労させる振動もない。なお、

ータは同年11月に発表されるまで秘密にされていた。スイスロトヘイルのジャンネレとヴェッツィーニの両教授によって開発された新しいDC/DCブラシレスモーターは、離陸時に1500回転で42kwを生み出す。特別に開発されたプロペラと、外側の部分が動くブラシレスモーターの組み合わせで45m/秒の上昇率を得られ、主翼に収納されたニッケル水素バッテリーは静穏な条件で高度1700mまで上昇するのに十分な容量がある。これは安全に離陸するだけでなく、方がークロスカントリー飛行が失敗した時に飛行機曳航でリトリブしてもらうべき飛行場までたどり着くのに十分なバッテリー容量だとも言えよう。最大巡航速度は時速170kmも出すことが可能だ。

The News Report